



MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2016年12月号



発行人：濱塚有史 編集人：君塚彩 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: info@moriokaymca.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「スキーキャンプの思い出」

佐藤 千夏（盛岡YMCAメンバーOG）

寒い冬がやってきました。だけど私は、外に出かけたいと思えます。22歳になっても、子供のように雪を楽しみにできるのは、幼い頃に楽しい体験ができたからだと感じます。私は、小学生の頃、YMCAの活動に参加していた従妹がきっかけで、一緒に活動に参加するようになりました。サマーキャンプ、ミステリーツアーなど、様々なキャンプに参加していました。そして、冬休みには5日間ほどかけて、スキーキャンプへ参加しました。

スキーキャンプには、年齢も住む場所も性格もスキー技術もバラバラな、本当に色んな子がいました。そんな楽しそうなキャンプも、私は期待と不安が半々でした。周りの子と仲良くなれるか、スキーをうまく滑られるか…と。しかし、そんな不安を打ち消すくらいリーダーのお兄さんお姉さんは頼もしかった。色んな子に分け隔てなく接してくれ、周りの子と仲良くするきっかけもつくってくれました。スキーがうまいへたも関係ありませんでした。グループ分けによって、技

術が同じくらいの子たちと、楽しみながら滑ることができました。転んでも大丈夫、みんな転ぶから(笑)。キャンプの最後のほうに、スキーテストがあって、1人ずつ滑ったのですが、これは緊張したのを覚えています。でも、だからこそ、上のレベルを目指してスキーができました。みんなと雪で遊んだり、温かいご飯を食べたり、部屋でお話したりと、楽しいことがたくさんありました。学校だけではできない経験、巡り合えない友だち・お兄さんお姉さん、たくさん出会うことができました。

YMCAでの経験は今の私をつくっています。知らない場所へ出かけること、様々な人と交流すること、小学生の時に楽しいと感じたこと、今でもわくわくします。私は来年度から、東北を離れ、社会人になります。不安はありますが、やはり楽しみでもあります。どんな出会いが待っているのかな。

11/5 盛岡YMCA理事長 就・退任式



11月5日(土)いわて県民情報交流センター「アイーナ」団体活動室において、盛岡YMCA理事長の就・退任式が開催されました。会は、阿部靖 仙台YMCA前理事長、菅野健仙台YMCA会長をはじめ、盛岡YMCAの関係者31名が出席し、楽しく、和やかな雰囲気で行われました。

新しく就任された魚住英昭理事長は石渡前理事長と同じく東北大学YMCAのご出身で、盛岡YMCA創立時の理事でもあられます。長年、家庭裁判所の調査官として、青少年、家族に向き合ってきた。

石渡前理事長が据えられた土台の上に立ち、魚住英昭理事長のリーダーシップの元、盛岡YMCAは青少年、家族、地域の抱える課題に取り組む団体として新たな一歩をスタートしました。



↑ 魚住理事長(写真左)から石渡前理事長(写真右)へ感謝状が手渡されました。

※ 学生YMCA
YMCAの活動の中で特に全国の大学及び学生寮、専門学校を拠点とした学生中心の活動を言います。全国に35のグループがあり、約450名の学生が参加しています。

石渡前理事長は、学生時代、東北大学YMCAを通じてYMCA運動に関わるようになりました。その後岩手医科大学教養部の教授として盛岡に赴任され医大生に哲学を教授される一方、新幹線の開通により急速に都市化が進む盛岡において青少年の心の荒廃を懸念され、1983年に盛岡YMCAを設立されました。以後今日に到るまで、実に33年の長きにわたり盛岡YMCAを支えてこられました。

☆盛岡YMCAチャンピオンズカップ開催☆

11月3日(木・祝)に、「盛岡YMCAチャンピオンズカップ」が行われました。盛岡YMCAのサッカースクールは、盛岡市・滝沢市に6つ、そして宮古市に1つあります。この日は、スクールごとにチームを組み、他のスクールのチームとの試合を行いました。普段はなかなか交流できないそれぞれのチームですが、それぞれの思いがぶつかり合い、白熱した時間となったようです。チャンピオンズカップに参加した、ちょびリーダーより、当日のレポートが届いています。



こんにちは！ちょびです！！今回、初めてチャンピオンズカップに参加させていただきました！大会当日の朝、天候はあいにくの雨でグラウンドは大変なことに…。それでも、子どもたちの元気や気合が天に届いて、試合中、午前は曇りで午後からは晴れましたね！！宮古のスクールの子ども

たちも参戦し、白熱した大会となりました！

チャンピオンズカップはスクールごとにチームを組んで試合を行うため、知っている絆の深いメンバーで勝利を目指します。今まで一緒に練習してきたチームメイトと泣いたり笑ったり、時には作戦をたてながら悩んだり、年一回の大会ということもあって思い入れの強さが感じられました。

試合中は真剣そのもので、グラウンドの状態なんて関係なくどのチームも一生懸命にボールを追いかけ、チームメイトと協力してゴールを決めようとしていました。それだけでなく整列や挨拶も相手よりも立派にやろう！という声かけがたくさん聞かれて、行動のひとつひとつがとても早く、熱かったです。チームごとに食べる昼食ですら、声をだそう！と言っているチームがあるほど

でした。試合後に「泥だらけだ！！それだけ全力で頑張った証だね！！」と笑いあう姿も(笑)本当にその通りで、何回転んでもすぐに立ち上がり最後までプレーを続ける姿、声がかれても声を出し続ける姿、なんとも言葉にできないものがこみ上げてきました！！

今回の大会は試合を行うので”相手”はいましたが、いろいろな場面で協力や思いやりが見られ、”敵”はいませんでした。サッカーは一人ではできない、同じサッカーをしている”仲間”を大切にするという素晴らしさを感じさせてくれた子どもたちに本当に感謝です。

また子どもたちはもちろんのこと、リーダーたちも熱くなったこの大会。それぞれの思いが一年後の大会でどんな結果を生み出すのか、とても楽しみです！これからもみんなで一緒に楽しくサッカーしたい！！心からそう思える大会でした！！

岩手県立大学1年 早坂 知美(ちょびリーダー)



← 選手宣誓！凛々しい声がグラウンドに響きました。



男の子も女の子も、子どももリーダーたちも、めいっばいサッカーを楽しみました！←



みんなどろんこになりました！白熱した試合になりました！←



→ どのチームも、全力でボールを追いかける姿はキラキラ輝いています。



→ こちらは高学年の部の優勝チーム。喜びのあまり、写真がややブレ気味です。



→ こちらは中学年の部の優勝チーム！みんな、いい表情していますね！

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 11月報告書

1. 盛岡YMCAチャンピオンズカップに参加！

11月3日に行われたチャンピオンズカップに、宮古のチームも出場しました！普段から宮古サッカースクールの活動をずっと見守ってきた、サトちゃんリーダー（ジパンリーダー）こと向平悟さんより、当日のレポートが届いています。



朝早くの集合にも関わらず、選手たちは元気いっぱい宮古駅に集合しました。中には半袖や半ズボンで集合する選手も…。2時間も移動のバスの中では色々なゲームをして遊びながら盛岡へ向かいました。

予定よりも相当早くついたため、準備が出来次第、タイムスケジュールにはなかった練習試合を盛岡のスクールとしました。特に緊張も感じられず、大きな声での体操、負けないという気持ちをもったプレー。本来予定のなかった午前の内容としてはすごく良かったと思います。

お昼を食べ、いざ出陣！！人数が多かったこともあり、3チームでの出場となりました。それぞれ3チームが別々に戦うのではなく、互いに支え、応援し、自分が出場していても気持ちよく1つに戦いました。バスの中でもどのように大会へ臨むかを話し、勝つことや点を取るなど目に見える目標ではなく、どこのチームよりも宮古は元気で楽しくサッカーしているんだぞ！というのを普段会えない盛岡に見せつけてやろうというのが目標でした。決勝トーナメント1回戦、2回戦と宮古のチームが負けてしまいましたが、残りの1チームが決勝へ進み、試合前には宮古から観に来てくれたお父さんお母さんたち、リーダー、選手が全員で円陣を組み、全員で挑みました。

その結果、優勝することができました。悔し涙、嬉し涙、喜びや感動など沢山の感情をリーダーたちは感じ、これは普段から頑張っている選手や、普段なかなか子どもたちがサッカーしているところを観ることのできないお父さんお母さんたちも感じたと思います。チャンピオンズカップが終わり、サッカースクールはまた進み始めました。残念ながら行けなかった子たちもいましたが、1週間で1時間しかないサッカースクールの時間を来てくれたみんなでもっともっと楽しい時間にしていこうとしています！1人ではできないサッカーというスポーツを通じて沢山笑い、つまずきながら強くなっていこうと思います！

チャンピオンズカップは宮古のスクールにとって1年に1度しかないとても貴重な盛岡のスクールとの交流です。このつながりを絶やさず元気いっぱいの宮古は強くなっていきますよー！！

社会人リーダー 向平 悟（サトちゃんリーダー／ジパンリーダー）



めめたのたワも、バ宮
でとんは、見事見せつら集
どうバ、低事見せつら集
！一学優勝つら集
←たの勝つてく
ちの部をけいす
でしにち取れ盛
したに出た宮
おし場つま古
おし場つま古

2. インターン中間報告会について

11月12日、「住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム インターンシップ奨励プログラム」の中間報告会が行われました。盛岡

YMCAでインターン生として活動している2名より、当日の報告が届いています。



11月12日に、永卯ビル「風のアトリエ」にて、インターンシップの中間報告会が行われました。今回は、岩手で活動しているインターンシップ生5名が、それぞれこれまでの活動内容、学んだこと、感じたことを報告しあい、これまでインターン生がどのような活動を行ってきたのかを共有する場となりました。

インターンシップ活動が始まって4ヶ月、初めて他のインターン生がどのような活動を行ってきたのかを知ることができた今回の報告会は、自分にとってとても良い刺激になりました。活動の内容はそれぞれ団体によって大きく違いますが、一人ひとりがこれまでの活動の中でたくさんのものを吸収し、4か月前に初めて会った時と比べると一回りもふた回りも成長したように感じられました。他のインターン生の報告から学ぶこともたくさんあり、今後の自分の活動に生かしていける部分がたくさんあると感じたと同時に、もっともっとたくさんの方にチャレンジしていきたいな、という気持ちにもなりました。

また、インターン生同士の交流はもちろんですが、NPOで働く方々のお話を聞いたことも非常に自分にとって有意義な時間となりました。他のインターン生や多くのNPOの皆さんと触れ合っていく中で自分の中で新たな気づきが生れたり考えが深まったりと、自分にとってとても貴重な時間となったと思います。インターンシップ活動は残り半分となりましたが、今後も他のインターン生と交流を続け、お互いに刺激し合い、また多くの方にチャレンジして自分自身の成長に繋げていきたいと思っています。

岩手大学3年 大藤 百華（ピーちゃんリーダー）



先日、6月から行っていた長期インターンの中間報告会がありました。事前にこれまでの活動内容をまとめ、当日スライドを用いて報告を行いました。

インターンの宮古での活動は、月一回の野外活動をはじめ、キャンプや台風被害支援活動など、現地の方々と関わる機会を数多く設けていただきました。その中で感じたこと学んだことを報告することで、改めて自分の想いを心の中に落としやすることができたように感じます。

まず、私はこのインターンをさせていただくにあたり、“復興の力になりたい”ということ、何に対しても“全力を尽くす”ということを目標に活動に臨んできました。

約4ヶ月が経った今、学んだことが3つあります。まず活動を通してプログラムを進める側の役割と視点を身につけられたこと。また長期の継続的な関わりが、活動にも人間関係にも深く影響すること。そして目の前にいる子どもや人々、状況に向き合い、目的を持って自分ができることを行う必要性を身をもって実感することができました。

今回は自分の学びを振り返り、また他のインターン生の活動も見聞きすることができ、とても刺激になりました。さらに今後に向けて、決意を新たにインターン活動に取り組んでいきたいと思っています。

岩手県立大学4年 川口 奈恵
(チョップリーダー)



☆リーダー紹介コーナー☆

みなさんこんにちは！ マックスこと岩手大学教育学部1年生の東 彩由海です。ベイマックスのマックスではありません、アズマックスのマックスですよ～！ マックスはサッカースクールでサッカーをしたり、アドベンチャーやキャンプにも参加したりしています。この冬はスキーキャンプに参加して楽しい時間を過ごしたいと思っています♪

さて、そんなマックスが紹介するリーダーはビリケンリーダーです！みなさんビリケンってなんだかわかりますか？ ビリケンとは大阪の通天閣にある幸運を呼ぶ神様の像。そうです、ビリケンは大阪出身のリーダーです！ 私と同じく岩手大学教育学部の1年生で、本名を二永芽生といいます。ビリケンとはアドベンチャーやサンデースクール、キャンプなどに参加しています。大阪出身ということで関西弁を使ったずいぶんツッコミを武器にして周りを盛り上げてくれています！ ツッコミだけではなく、ときにはボケにまわります。一発ギャグや変顔のレパートリーは計り知れません…。みなさんビリケンにあってら一発ギャグをお願いして

てください！ 爆笑すること間違いなしですよ☆（あとで怒られそうです…）

そしてビリケンとは話をすることや聞くことがとても上手です！ 活動ではみんなに面白い話をして楽しませてくれるし、みんなの話を聞いて盛り上げてくれます。そうしてグループの絆を深めて色々なことにチャレンジしています！ ビリケン自身も多くの活動に参加してみんなを楽しませるために日々チャレンジしていて、1年生ですがとっても頼りになります。

そんなビリケンとまだ話したことがない！という人は、どんどん話して仲良くなってくださいね！！ 面白い話をしてくれますよ～！ 以上ビリケンリーダーの紹介でした。



↑ 左がマックスリーダー、右がビリケンリーダー。二人ともとても面白くてお茶目です！

12月の予定

- ★12月4日(日)・10日(土)
キャンプ説明会
- ★12月15日(木)
高松スクールⅡ期終了
向中野スクールⅡ期終了
- ★12月16日(金)
金曜水泳Ⅱ期終了
篠木スクールⅡ期終了
盛北スクールⅡ期終了
- ★12月17日(土)
本町スクールⅡ期終了
- ★12月19日(月)
土淵スクールⅡ期終了
月曜水泳Ⅱ期終了
- ★12月20日(火)
火曜水泳Ⅱ期終了
- ★12月21日(水)
水曜水泳Ⅱ期終了
盛南スクールⅡ期終了
- ★12月26日(月)～29日(木)
エンジョイスキーキャンプ
(於:八幡平リゾートスキー場)
- ★12月27日(火)～29日(木)
ジュニアスキーキャンプ
(於:八幡平リゾートスキー場)

表紙の写真から



11月3日(祝)に開催された盛岡YMCAサッカー大会「チャンピオンズカップ」から。宮古チームで参加したMちゃん。Yへのきっかけは田沢湖で開催された復興支援キャンプだ。よほど楽しかったらしく、「ゴリ」や「マスオ」「チョップ」など参加したリーダー全員の名前を覚えていた。
残念ながら自分のチームは連戦連敗。泥だらけになりながらもなかなか勝てない。結果報告のため本部に行くたびに号泣。思わず受付のスタッフ「タモリさん」がもらい泣きする場面も。でも、あきらめず懸命にボールを追い続けたMちゃん。一緒に参加した宮古のチームが優勝した時には、自分のことのように喜んでいました。



君でいいんだよ ～JUST THE WAY "YOU" ARE 29～

『愛ってなんだ?』



クリスマスは何と言ってもプレゼントなのだ。50年前、幼稚園のクリスマス会でもらった男の子用のプレゼントがソフトビニール製の赤い大きな軍艦のおもちゃだった。なんとその軍艦はやわらかく、押すと「ビュー」とぬいぐるみのような音を出す。ビニール製だから濡れてもへっちゃら。しばらくの間、僕はお風呂にその軍艦と一緒に入っていた。幼稚園からのプレゼントが軍艦というのもいかなものかと思うが、少なくとも僕にとっては大切な宝物だったのである。
そもそもクリスマスのプレゼントの習慣はイエ

スの誕生の知らせを聞いた東方の博士たちが黄金、乳香、没薬を携えてお祝いにきたことから発しているらしい。一方で、ヨハネの福音書3章16節に「神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。」とあるようにイエスご自身が神から人類へのプレゼントであるとする見方もある。そしてそのイエスが生涯を通して示されたのが「愛」だ。

そこで「愛」とはなんだ?ということになる。またまた、難しい問題だが、ある人が以下のように話していた。

「愛 (LOVE)」とは、Listen(相手に耳を傾ける) Open(相手に心を開く) Voice(相手に声をかける) Enjoy(相手と一緒に喜ぶ)

そうか!人と人との日常的な関わり合いの中で育まれていくものが愛なんだ。

「愛は寛容であり、愛は情け深い。また、ねたむことをしない。愛は高ぶらない、誇らない、」
(口語訳聖書 コリント人への第一の手紙 13章: 8節)

盛岡YMCA総主事 濱塚有史

インドでゴリナも考えた。⑧

先月はお休みだったゴリナリーダーによるインドコラムも、今月から復活! 今月は、「マザーテレサの家ランチ」についてのお話です。



インドでは障がいのある人は家族から拒まれ、家を出され駅のホームやバス停などで暮らさなければいけない。地域の人からそのことを聞き、ブラザーが会いに行く。マザーテレサの家ランチはインド中にあり、どこが一番その人にとって暮らしやすいかを考え調整するようだ。政府からの支援はなく、地域の人食べ物や服など寄付してくれる。

また、マティアスさんは施設を案内しながら一人一人を紹介してくれた。「彼は料理をいつも手伝ってくれる」「彼は力持ちで荷物を運んでくれる」「彼はとても絵がうまい」「彼は足で器用に何でもする」「彼は一番床をきれいに掃除する」「彼はみんなから頼りにされる父のような人だ」...

私はそれを聞いて驚いた。マティアスさんは一

人一人としっかり向き合い、毎日に共に生きていく。大きな愛を感じた。そのためか、施設の雰囲気はとても和やかだったように思う。

また、印象深いのは、チームワークだった。障害にも軽い人、重い人がいる。体を自由に動かせる人が食事介助をしてあげたり、掃除をしたり、体は動かない人でも悩む人の話を聞いてあげたり...。ブラザーたちだけでなく、施設で暮らす方々がお互いに支え合っていた。まるで大家族のよう。

マティアスさんは私たちにこう言った。「すべての人が神の子どもである。神の愛を伝えることが私のモットーです。」私はこの施設でたくさん愛を感じた。地域の人たち、ブラザーたち、施設で暮らす人たちの愛である。

私も今、目の前にいる人を大切に愛をもって接することができる人になりたいと強く思った。マティアスさんたちに負けない笑顔で日々を過ごしていきたい。

岩手大学4年 武田 悠(ゴリナリーダー)

※ブラザー...ここでは、心の清貧を保ち、信仰生活を送っている、男性の修道士のこと。



感謝

2016年度10月26日現在
五十音順・敬称略

●維持会費

秋永光里、浅沼慧、有我啓作、飯島隆一、家村知佳、池田二郎、石崎真珠、戸貝文、伊藤克見、伊藤真一郎、伊藤真太郎、伊藤愛美、伊藤みどり、井上浩太郎、井上修三、井上優子、今松桂子、江中慶宗、魚住英昭、鶴丹谷三代、上野宏志、遠藤隆、遠藤昌樹、及川茂夫、及川孝人、大澤未栄、大岡浩一、岡田虎治、尾形裕一郎、小川明徳、小川嘉文、小澤聡、レナード、押切健、小畑孝子、小山泰徳、角谷晋次、川坂保宏、山田橋、慧一、菊地弘生、北田アユ子、君塚彩、工藤あさひ、工藤孝、熊谷圭祐、熊谷映希、熊谷力貴、小林茂元、髙野春代子、今野隼子、今野健児、斎藤恒夫、佐藤翔、清水弘一、清水裕治、菅原省司、杉田弘弘、高橋裕彦、滝川佐波子、立花慶太郎、村治之志、Y.M.C.A. 理事長 藤澤孝、長岡和義、長岡正彦、中島敬泰、中原真澄、名古屋直彦、南原良哉、日本基督教団 名古屋教会、花田晴、濱塚恵太、濱塚秋二、濱塚直樹、濱塚牧人、濱塚真美、濱塚有史、濱塚れい子、早坂春希、林辰也、原英、人見晃弘、廣川厚平、廣川健太郎、廣川はな、藤野陽平、古澤健一、松尾聡子、増田隆、水田賢次、水野鶴夫、光永尚生、宮崎幸雄、守口咲良、守下昌輝、森山日菜乃、森山幹大、山口貴伸

●寄附金

池田二郎、伊藤克見、伊藤真一郎、伊藤みどり、今松桂子、遠藤昌樹、及川茂夫、大岡浩一、角谷晋次、北田アユ子、熊谷圭祐、熊谷映希、熊谷力貴、髙野春代子、佐藤翔、高橋裕彦、長岡和義、名古屋直彦、南原良哉、早坂春希、花田晴、濱塚秋二、濱塚れい子、原英、人見晃弘、光永尚生

●東日本大震災被災地支援券

3・11チャリティコンサート実行委員会、飯島隆輔、大阪YMCA、私立捜真小学校、馬場一郎、日本基督教団城西教会、ワイズメンズクラブ西日本区

●熊本地震・YMCA救援・復興基金

家村知佳、石崎真珠、伊藤克見、伊藤真一郎、伊藤真太郎、小畑孝子、北田アユ子、君塚彩、熊谷亜希子、熊谷力貴、髙野春代子、昆野瑞紗、清水弘一、吉田航平、吉田美波

●熊本地震被災YMCA支援募金

浅沼慧、浅沼美希、家村知佳、石崎真珠、伊藤真一郎、伊藤愛美、井上修三、岩井二己、鶴丹谷三子、尾形昌輝、小川明徳、小川嘉文、角谷晋次、菊地弘生、工藤孝、佐々木千賀子、高橋亜也、生、滝川佐波子、立花花見、日本基督教団内丸教会、日本基督教団宮古教会、濱塚真美、濱塚有史、早坂春希、女鹿乃乃、華、盛岡YMCAリーダー会、もりおかワイズメンズクラブ、四元尚志、吉田航太郎